

令和4年春季講演会 講演プログラム

日時：2022年5月26日（木）、27日（金）
場所：広島国際会議場（現地）+Zoom（オンライン）

5月26日（木）

○講演者
著者

時間

表題

【第1会場 Room 1】

- 10:20 ~ 12:00 一般講演 (GS1) 腐食・疲労強度、溶接 Corrosion, Fatigue strength, and Welding
司会：岡正義（海上技術安全研究所） Chair: Masayoshi Oka (National Maritime Research Institute)
- 10:20 ~ 10:40 モデル化誤差データ同化による等価波浪頻度分布に基づく疲労被害度推定手法の検討 ○武内崇晃, 井上拓海, 大沢直樹
- 10:40 ~ 11:00 船体腐食モデルの Bayes 推定に関する一考察 —IACS 腐食モデルパラメタ決定のための MCMC モデリング— ○森垣堅登, 大沢直樹, 武内崇晃
- 司会：大沢直樹（大阪大学） Chair: Naoki Osawa (Osaka University)
- 11:00 ~ 11:20 変動荷重下におけるき裂先端近傍のひずみ計測に基づくき裂先端塑性域形成挙動の推定 ○早川銀河, 川村恭己, 岡田哲男, Dumbarangage Eashan Gayantha Nandasiri
- 11:20 ~ 11:40 係留鎖の摩耗係数に関する実験的検討および3次元計測による解析的検討 村上貴昭, ○武内崇晃, 宇都宮智昭, 後藤浩二
- 11:40 ~ 12:00 深層学習を用いた溶接ビード外観自動検査手法構築に向けた学習データの窓大きさと窓移動量に関する一検討 ○渡邊範弘, 山寄賢人, 後藤浩二
- 16:20 ~ 17:40 オーガナイズドセッション (OS3) 造船技術、文化の保存と活用
Preservation and application of technology and culture of ships
オーガナイザー：山口悟（九州大学）、平山次清（横浜国立大学）、内藤林（大阪大学）
Organizer: Satoru Yamaguchi (Kyushu University), Tsugukiyo Hirayama (Yokohama National University), Shigeru Naito (Osaka University)
- 海事遺産としての南極観測船宗谷の特徴について ○庄司邦昭
- 弁才船の帆柱の立て起こし要領に関する考察 ○小嶋良一
- 円弧法—16, 7世紀の船型描画法について ○平山次清
- 浅海域を対象とした海底遺跡探査手法の検討 ○山口悟, 福田雄

【第2会場 Room 2】

- 9:40 ~ 10:40 一般講演 (GS2) 推進性能 I Propulsion performance I
司会：安川宏紀（広島大学） Chair: Hironori Yasukawa (Hiroshima University)
- 9:40 ~ 10:00 自由航走模型試験と理論計算による CFRP プロペラ搭載船の波浪中推進性能評価に関する研究 ○北川泰士, Bondarenko Oleksiy, 塚田吉昭, 福田哲吾, 蓮池伸宏, 藤本浩史
- 10:00 ~ 10:20 CFRP プロペラ搭載船の波浪中燃料消費性能の評価に関する基礎的研究 ○北川泰士, Bondarenko Oleksiy, 塚田吉昭, 福田哲吾, 蓮池伸宏, 藤本浩史
- 10:20 ~ 10:40 Energy-Saving Effect of Bulbous Rudder with Fins Having Different Configurations in Waves ○Win Naing Htay, Yuji Tsuda, Seemontini RoyChoudhury, Yasuyuki Toda
- 11:00 ~ 12:00 一般講演 (GS3) 推進性能 II Propulsion performance II
司会：安東潤（九州大学） Chair: Jun Ando (Kyushu University)
- 11:00 ~ 11:20 層流域での小型模型船の形状影響係数に関する実験 ○細田慎太郎, 坪郷尚
- 11:20 ~ 11:40 塗膜粗面の粗度関数の直接計測 ○勝井辰博, 吉岡秀晃, 高島公貴, 川根孝生, 三重野紘央, 西尾茂
- 11:40 ~ 12:00 RSM による実船レイノルズ数での CFD 計算に関する考察 ○松田識史, 勝井辰博, 木村校優

- 16:20 ~ 18:00 **一般講演 (GS4) 推進性能 III Propulsion performance III**
司会：金丸 崇 (九州大学) Chair: Takashi Kanemaru (Kyushu University)
- 16:20 ~ 16:40 大型キャビテーション水槽における初代青雲丸模型を対象とした伴流分布のスケール影響に関する数値的検討 ○新井淳, 毛利隆之
- 16:40 ~ 17:00 肥大船における船体FINの省エネ効果のCFDによる検証 ○石川暁, 樺蓮
- 17:00 ~ 17:20 浮氷群下流の氷片に作用する流体力の数値解析による調査および実験との比較 ○林諒汰, 金野祥久
- 司会：石川 暁 (長崎総合科学大学) Chair: Satoru Ishikawa (NIAS)**
- 17:20 ~ 17:40 フイン付舵の舵抗力低減効果に関する一考察 ○金丸崇, 吉武朗, 安東潤
- 17:40 ~ 18:00 CFDによる船外機付き滑走艇の流体力特性に関する研究 片山徹, ○名波辰樹, 大関昌平, 曾我匡統, 渡辺敏夫

【第3会場 Room 3】

- 10:20 ~ 12:00 **オーガナイズドセッション (OS2) 海事産業における海上物流ビッグデータの活用**
The application of maritime logistics big-data in maritime industry
オーガナイザー：和田 祐次郎 (広島大学), 柴崎 隆一 (東京大学)
Organizer: Yujiro Wada (Hiroshima University), Ryuichi Shibasaki (The University of Tokyo)
- 船舶動静データの信頼性の総合的評価に関する研究 ○和田祐次郎, 鎌田拓実, 濱田邦裕, 五十嵐祐介, 渡邊大介, 間島隆博
- Probabilistic Approach for Risk Assessment of Near Miss Situations in Sunda Strait ○Fadilla Indrayuni Prastyasari, Takeshi Shinoda
- AIS データに基づくバンカリング・オペレーションの推計と国際比較 ○渡邊英介, 柴崎隆一
- 船舶動静データと石油統計を用いた航行船舶からのGHG排出量の推計—LNG運搬船と原油タンカーを対象とした衛星AISデータを用いて— Thuta Kyaw Win, ○渡部大輔, 島海重喜
- 衛星画像とAISデータに基づくコンテナターミナルにおける混雑度の推計と分析 安田広大, ○柴崎隆一
- 16:20 ~ 18:00 **一般講演 (GS5) 運動性能 I Motion and Performance I**
司会：宝谷 英貴 (東京大学) Chair: Hidetaka Houtani (The University of Tokyo)
- 16:20 ~ 16:40 流体力学的関係を考慮した運動方程式の同化 ○花木孝明, 高岡美那, 飯田隆人, 箕浦宗彦
- 16:40 ~ 17:00 横流れを考慮した波浪定常流体力の実用計算法と波浪中操縦運動シミュレーションへの適用 梅尾雅道, ○柏木正, 箕浦宗彦, Decheng Wan
- 17:00 ~ 17:20 確率外乱が針路不安定性に与える影響に関する一考察 (第2報) ○牧敦生, 星野健太, Leo Dostal, 丸山湧生, 羽根冬希, 芳村康男, 梅田直哉
- 司会：箕浦 宗彦 (大阪大学) Chair: Munehiko Minoura (Osaka University)**
- 17:20 ~ 17:40 MCMC法を用いたMMGモデルの操縦流体力微係数の同定に関する検討 ○栗林亨樹, 満行泰河, 宮脇遼太, 角田領, 二木峻佑
- 17:40 ~ 18:00 非線形時間発達を考慮した波浪場における船体縦曲げ応答の数値計算 ○宝谷英貴, 松井貞興, 藤本航

【第4会場 Room 4】

- 10:20 ~ 12:00 **一般講演 (GS8) 浮体応答、防災、その他 Floating body response, Disaster prevention and etc.**
司会：増田 光弘 (東京海洋大学) Chair: Mitsuhiro Masuda (TUMSAT)
- 10:20 ~ 10:40 大型コンテナ船の実船計測に基づくホイッピング抽出法の提案 ○古舘恵太, 岡田哲男, 川村恭己, 早川銀河
- 10:40 ~ 11:00 ムーンプールを有するボンツーン型浮体の動揺低減効果に関する基礎的研究 ○藤島健英, 居駒知樹, 相田康洋
- 司会：片山 徹 (大阪公立大学) Chair: Toru Katayama (Osaka Metropolitan University)**
- 11:00 ~ 11:20 LSTMを用いた姿勢安定装置付きスパーブイの不規則波中動揺予測に関する検討 ○絹笠瑞基, 山本裕介, 森田万葉, 寺田大介, 片山徹
- 11:20 ~ 11:40 多方向不規則波中の船体応答計測に基づく波浪及び非計測応答の時間領域推定 ○高見朋希, 陳曦, 小森山祐輔
- 11:40 ~ 12:00 多発する水害に対する浮体式防災住居の提案(その1) -水槽実験による浮上性能に関する基礎的検討- ○増田光弘, 竹内鈴太, 筒井千暁, 南清和

16:20 ~ 17:40 一般講演 (GS9) 艦装・装備、計画、生産 Figging/Equipment, Design, Production
司会：青山 和浩 (東京大学) Chair: Kazuhiro Aoyama (The University of Tokyo)

- | | | |
|---------------|-----------------------------------|--------------------------------------|
| 16:20 ~ 16:40 | 音響管を用いた船内騒音抑制のための音響シミュレーションに関する研究 | ○田中太氏, 篠田岳思, 岡部直樹 |
| 16:40 ~ 17:00 | ウイルス感染症対策に向けた船内居住区の空調システムに関する研究 | ○前田淳宏, 陸田秀実, 金平大河, 中島卓司, 滑智子, 佐藤功一 |
| 17:00 ~ 17:20 | 造船用 PLM システムに関する基礎的検討 | ○松尾宏平, 森下瑞生, 比翼謙太郎, 末岡雅喜, 谷口智之, 竹澤正仁 |
| 17:20 ~ 17:40 | 磁気吸着ユニットと空圧アクチュエータを用いた船体壁面歩行ロボット | ○松葉佐哲仁, 木村元, 浅沼智幸 |

5月27日 (金)

○講演者
著者

時 間

表 題

【第1会場 Room 1】

8:40 ~ 12:00

オーガナイズドセッション (OS1) 自動着棧技術とその応用

Automatic Berthing

オーガナイザー：牧 敦生 (大阪大学), 澤田 涼平 (海上技術安全研究所)

Organizer: Atsuo MAKI (Osaka University), Ryohei SAWADA (National Maritime Research Institute)

自動着棧のための点群地図作成と自己位置推定

○澤田涼平, 平田宏一

自動着棧制御に向けた静的障害物を考慮した追従制御則の強化学習を用いた獲得手法について

○脇田康希, 秋本洋平, Dimas M. Rachman, 天野希海, 笛木雄太, 牧敦生

自動運航性能評価のための不規則風外乱の高速計算アルゴリズムの開発 (第2報)

○牧敦生, 丸山湧生, Leo Dostal, 笹健児, 澤田涼平, 脇田康希, 酒井政宏, 梅田直哉

無人運航船の実現に向けた自動着棧制御システムの開発 -1軸1舵, パウスタスター1基の自動着棧制御-

○羽生一成, 三好晋太郎

ベクトル舵装備船舶の運動指示制御のための MIMO フィードバックニューロコントローラ

○巢山凜, 脇田康希, 秋本洋平, 青木佑介, 牧敦生

Automatic Docking (Berthing) by Dynamic Positioning System with VecTwin Rudder

○Dimas M. Rachman, Yusuke Aoki, Yoshiki Miyauchi, Atsuo Maki

低層ニューラルネットワーク型制御器によるトラッキング制御ベースの着棧操船

○関十也, 脇田康希, 青木佑介, 秋本洋平, 牧敦生

自律運航船の実現に向けた操船システムの開発-モデルベース予測を利用したアプローチ制御-

○五百木陵行, 三好晋太郎

操船システムの実装と評価を繋ぐデジタルツイン環境の実現(第2報) -実船へのシームレスな実装を可能とする操船システム評価用シミュレータの構築-

○和田翠星, 牧敦生

13:00 ~ 16:00

オーガナイズドセッション (OS5) 海事DXに向けた船体構造デジタルツインの研究開発

R&D of Digital Twin for Ship Structures towards Maritime DX

オーガナイザー：藤久保 昌彦 (大阪大学)

Organizer: Masahiko Fujikubo (Osaka University)

船体構造デジタルツインの開発-プロジェクト成果の概要-

○藤久保昌彦

船体構造デジタルツイン構築のためのデータ同化技術

○岡正義

バルクキャリア弾性模型を用いた水槽試験による船体構造デジタルツインのデータ同化手法の検証

○宝谷英貴, 三上航平, 小森山祐輔, 陳曦, 三宅雄登, 辰巳晃, 黒田貴子, 岡田哲男, 飯島一博, 村山英晶, 岡正義

デジタルツインシステムプラットフォーム i-SAS の開発と水槽試験におけるシステム検証

○三上航平, 小林真輝人, 宮下知也, 小森山祐輔, 馬沖, 辰巳晃, 藤公博, 見良津黎, 平川真一, 満行泰河, 村山英晶

船体構造モニタリング技術と 1/10 自航模型船による実海域試験

○村山英晶, 藤公博, 若原正人, 生井貴宏, 森孝之, 柴田憲一

ケーブルサイズばら積み貨物船の静水中・波浪中応答評価

○平川真一, 吉田智美, 岡田哲男, 辰巳晃, 内田響, 陳曦, 関紀明, 河尻義貴

8,600TEU コンテナ船の短期・長期予測

○大沢直樹, 辰巳晃, 武内崇晃

船体構造デジタルツインの社会実装シナリオ実現に向けた検討

○濱田邦裕, 和中真之介, 満行泰河

【第2会場 Room 2】

- 9:00 ~ 12:00 **オーガナイズドセッション (OS6) 自動運航船に関する技術・評価・実証
Autonomous Ships -Technology, Assessment and Validation-**
オーガナイザー：橋本 博公 (大阪公立大学)
Organizer: Hirotada Hashimoto (Osaka Metropolitan University)
- フラップ舵を備えた船の離着岸性能に関する実験的研究 ○奥田隆輔, 安川宏紀, 山下智大, 平田法隆, 松田秋彦
- 短距離小型旅客船の無人運航実証実験のリスク解析 -無人運航船プロジェクト MEGURI2040- ○石村恵以子, 高野慧, 笛木隆太郎, 塩苺恵, 伊藤博子
- MEGURI2040 スマートフェリーの開発 -大型高速フェリーによる無人運航の実証実験報告- ○森英男
- 自動運航システムのリスク解析手法に対する認証的視点からの考察 ○山田智章, 佐藤誠, 倉信力也, 渡邊遼, 伊藤博子, 塩苺恵, 柚井智洋
- 自動避航操船のための最適航路計画の策定 -逆強化学習による熟練船長の模倣- ○檜垣岳史, 橋本博公, 吉岡舜
- 自動運航船のリスク解析手順書の開発 ○柚井智洋, 伊藤博子, 塩苺恵, 河島園子, 工藤潤一, 石村恵以子, 三宅里奈
- 無人運航船の実現に向けた自律操船システムの開発 -航路保持制御と実証実験の報告- ○三好晋太郎, 五百木陵行, 鈴木一朗
- 無人運航船の実現に向けた航路保持システムの開発 ○鈴木一朗, 三好晋太郎

- 13:00 ~ 14:20 **オーガナイズドセッション (OS7) 海運ゼロエミッション達成への道と海事産業のあり方
Future Direction of Zero Emission from Shipping and Maritime Industry**
オーガナイザー：村山 英晶 (東京大学), 和中 真之介 (海上技術安全研究所), 稗方 和夫 (東京大学)
Organizer: Hideaki Murayama (The University of Tokyo), Shinnosuke Wanaka (National Maritime Research Institute), Kazuo Hiekata (The University of Tokyo)
- 国際海運の脱炭素に向けた政策決定支援シミュレーション 稗方和夫, ○野々村一步, 吉田隼基
- 国際海運ゼロエミッション化に向けた環境・技術・経済シミュレーションの開発 ○和中真之介, 垣内隆太郎, 藤田尚毅, 稗方和夫, 大和裕幸
- 海事産業における SDGs 達成のための SD モデルの開発 ○和田祐次郎, 山村巽, 濱田邦裕, 和中真之介, 川北千春
- 低速幅広肥大船型による GHG 削減への取り組み ○川北千春, 一ノ瀬康雄, 深澤良平, 金井健, 新郷将司

【第3会場 Room 3】

- 9:20 ~ 12:00 **オーガナイズドセッション (OS4) 造船・海運におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)
Digital Transformation of Shipbuilding and Maritime Transformation**
オーガナイザー：篠田 岳思 (九州大学), 稗方 和夫 (東京大学), 濱田 邦裕 (広島大学)
Organizer: Takeshi Shinoda (Kyushu University), Kazuo Hiekata (The University of Tokyo), Kunihiro Hamada (Hiroshima University)
- 船舶動静情報を活用した海運市況予測システムの構築とその実用化に関する研究 ○和田祐次郎, 平山大貴, 濱田邦裕, 五十嵐祐介, 渡邊大介, 間島隆博
- 船舶建造工程モデリングとプロセスシミュレーションを用いた生産計画立案手法の試運 ○大久保友結, 満行泰河
- TOC 思考プロセスによる日本の造船・産業に潜む対立構造の可視化に関する研究 ○土井裕文, 篠田岳思, 橋本州文, 陸田秀美
- TOC 思考プロセスを活用した企業継続のための資金繰りに関する考察 ○土井裕文, 篠田岳思
- 海事における DX 推進支援のアプローチの提案 ○稗方 和夫
- 造船所における建造を模擬した SCM と作業工程情報の取得に関する研究 ○篠田岳思, 福田優作, 田中太氏, 柳井和之
- 造船所の小組立工程ライン化の建造シミュレーションによる生産性評価に関する研究 ○篠田岳思, 土田裕愛, 田中太氏, 藤澤俊介

- 13:00 ~ 14:20 **一般講演 (GS6) 運動性能 II Motion and Performance II**
司会：陸田 秀実 (広島大学) Chair: Hidemi Mutsuda (Hiroshima University)
- 13:00 ~ 13:20 横移動船舶に作用する流体力特性の数式船型を用いた分析 -第2報：浅水影響の主要目比依存性について- ○北地渉悟, 西尾茂, 高松賢一, 勝井辰博
- 13:20 ~ 13:40 仮床式浅水域で計測される主船体流体力に関する研究 -遮断幕の設置による計測精度改善の可能性- ○八谷洋輔, 佐野将昭, 奥田隆輔, 中島卓司, 古川芳孝, 安川宏紀
- 13:40 ~ 14:00 横揺れ減衰カビルジキール成分の自由表面影響-池田による直圧力成分推定法の改良- 片山徹, ○吉田尚史, 山本裕介
- 14:00 ~ 14:20 船体運動時系列と波スペクトルを用いた船体運動モデルの同定 ○高岡美那, 花木孝明, 箕浦宗彦
- 14:40 ~ 16:00 **一般講演 (GS7) 運動性能 III Motion and Performance III**
司会：西尾 茂 (神戸大学) Chair: Shigeru Nishio (Kobe University)
- 14:40 ~ 15:00 Consideration of the difference in Oscillation Mechanism between Ship Parametric Roll and a Swing ○Masahiro Sakai, Atsuo Maki
- 15:00 ~ 15:20 液化ガス燃料タンク内のスロッシング現象とその抑制技術に関する研究 ○信木爽汰, 陸田秀実, 金平大河, 中島卓司, 藤原悠一, 米茂一平, 朱有珍
- 15:20 ~ 15:40 波浪中における四胴型自動航行船のアーム部材に生じる荷重 ○谷口貴啓, 田岡璃久, 坪郷尚, 二瓶泰範
- 15:40 ~ 16:00 自由航走試験データを用いた操縦運動数学モデルのパラメータ推定 ○寺田大介

【第4会場 Room 4】

- 8:40 ~ 10:20 **一般講演 (GS10) 材料・構造解析 I Material Structural analysis I**
司会：後藤 浩二 (九州大学) Chair: Koji Goto (Kyushu University)
- 8:40 ~ 9:00 大型構造モデル試験における脆性亀裂アレストメカニズムに関する一考察 ○米澤隆行, 大川鉄平, 井上健裕, 小田直樹
- 9:00 ~ 9:20 船体構造に生じる非線形応力の極値統計予測 -第2報：平均が非ゼロの3応力成分から成る von-Mises 応力- ○松井貞興
- 司会：柳原 大輔 (九州大学) Chair: Daisuke Yanagihara (Kyushu University)**
- 9:20 ~ 9:40 流体構造連成解析を用いた被衝突船 Sway 運動の等価付加質量係数に関する一考察 ○塩満大祐, 石代宗之, 福井努
- 9:40 ~ 10:00 設計規則波を用いた船体の降伏強度評価に関する一考察 ○松井貞興
- 10:00 ~ 10:20 溶接継手の疲労強度改善のためのレーザ照射による局部浸炭処理に関する基礎検討 田門 岳大, ○後藤 浩二, 森園 靖浩
- 10:40 ~ 12:00 **一般講演 (GS11) 材料・構造解析 II Material Structural analysis II**
司会：北村 充 (広島大学) Chair: Mitsuru Kitamura (Hiroshima University)
- 10:40 ~ 11:00 NREL 5MW 浮体式洋上風車モデルを用いた係留鎖摩耗量の検討 ○黒川良樹, 武内崇晃
- 11:00 ~ 11:20 傾斜した損傷船体構造の崩壊挙動-傾斜した開口有りボックスガーターを用いた実験および有限要素解析による検討- ○小森山祐輔, 田中義照, 安藤孝弘, 橋爪豊, 辰巳晃, 藤久保昌彦
- 11:20 ~ 11:40 ひずみ計測データと波浪推算データを統合した船体桁の信頼性の予測 ○辰巳晃, 園田悟大, 飯島一博, 藤久保昌彦
- 11:40 ~ 12:00 ケープサイズバルクキャリアの実船応力計測に基づく遭遇波浪推定に関する研究 ○内田響, 陳曦, 岡田哲男, 川村恭己, 満行泰河, 吉田智美
- 13:00 ~ 14:20 **一般講演 (GS12) 安全性・信頼性、地球環境・保全、海洋調査・観測技術 Safety, Reliability, Global environment, Global conservation, Marine survey, Marine observation technology**
司会：柚井 智洋 (海上技術安全研究所) Chair: Tomohiro Yuzui (National Maritime Research Institute)
- 13:00 ~ 13:20 VTA による排除ノードへの 4M4E 分析の適用 瓜生浩二, ○篠田岳思
- 司会：篠田 岳思 (九州大学) Chair: Takeshi Shinoda (Kyushu University)**
- 13:20 ~ 13:40 次世代船用燃料と核エネルギー ○一色浩
- 13:40 ~ 14:00 畳み込みニューラルネットワークを用いた沿岸海域における動物プランクトンの画像計測法 新井励, 瀬川晃生, ○名倉慧, 森瑞希
- 14:00 ~ 14:20 GCOM-C データを使った 2021 年福徳岡ノ場火山由来軽石の漂流経路推定 ○作野裕司, 谷口直和

【第5会場 Room 5】

- 10:40 ~ 12:00 一般講演 (GS13) 自然・海洋エネルギー I Natural energy, Ocean renewable energy I
司会：柏木 正 (関西設計) Chair: Masashi Kashiwagi (Kansai Design)
- 10:40 ~ 11:00 管内流を有する弾性管の振動に関する研究-その1 自由振動計測実験- ○久松稜弥, 山口雄世, 宇都宮智昭
- 11:00 ~ 11:20 管内流を有する弾性管の振動に関する研究-その2 理論的検討- ○山口雄世, 久松稜弥, 宇都宮智昭
- 11:20 ~ 11:40 半潜水型台船を用いた浮体式洋上風車設置施工の安全性の検討 河野将也, ○久松稜弥, 宇都宮智昭, 佐藤郁
- 11:40 ~ 12:00 砕石バラスト積みスパー型浮体のアペンディング挙動に関する実験と解析 ○巽謙太郎, 宇都宮智昭, 佐藤郁
- 13:00 ~ 14:20 一般講演 (GS14) 自然・海洋エネルギー II Natural energy, Ocean renewable energy II
司会：永田 修一 (佐賀大学) Chair: Shuichi Nagata (Saga University)
- 13:00 ~ 13:20 変動風を考慮した MBDyn による浮体式洋上風車の設計ツール開発 荒木詩乃, ○宇都宮智昭
- 13:20 ~ 13:40 スパー型洋上風力発電浮体の立て起こしに関する波浪中での時間領域大振幅シミュレーション ○柏木正, 高島新一郎, 小濱耕二, 西村真知, 保木本智史, 森屋陽一, 西郡一雅, 十川靖弘
- 13:40 ~ 14:00 海流発電開発プロジェクト実証試験の概要 ○百々泰, 長屋茂樹, 藤田穰, 齊藤宏幸
- 14:00 ~ 14:20 実海域実証試験における海流発電ポッドの応力計測と評価 ○百々泰, 岡田哲男, 長屋茂樹, 石黒泰大
- 14:40 ~ 16:00 一般講演 (GS15) 自然・海洋エネルギー III Natural energy, Ocean renewable energy III
司会：宇都宮 智昭 (九州大学) Chair: Tomoaki Utsunomiya (Kyushu University)
- 14:40 ~ 15:00 波の影響を受ける2基潮流タービンの水槽実験 ○渡辺勢也, モハメドカムラ, 胡長洪
- 15:00 ~ 15:20 Wake Prediction of Tidal Current Turbines Using Machine Learning ○Mohamed M. Kamra, Changhong Hu, Seiya Watanabe
- 15:20 ~ 15:40 気液二相流MPS法を用いた空気室付浮体モデルの開発 ○笹原裕太郎, 増田光弘